

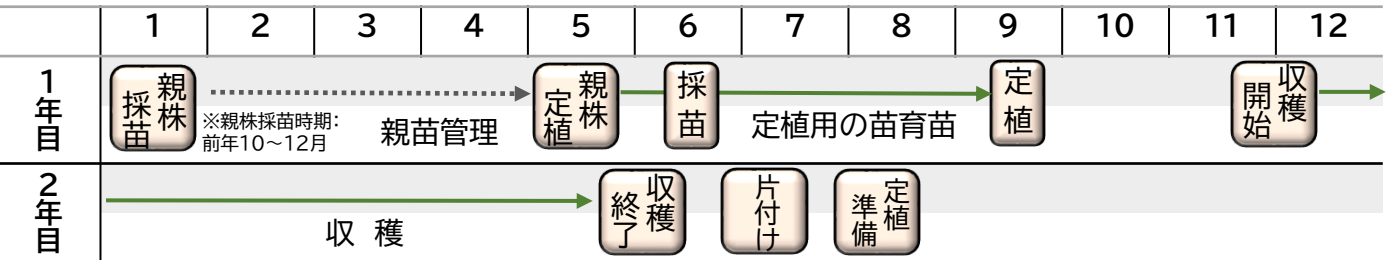
研修生1組2名募集中

●宇佐市のいちご経営の特長

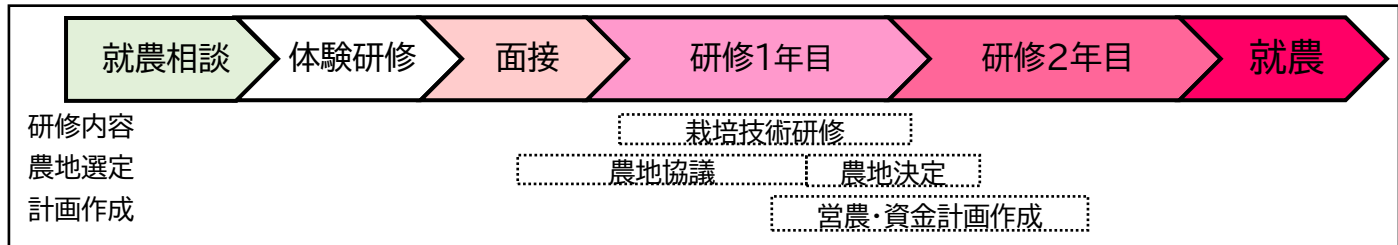
- ・宇佐市は周防灘に面し、温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属しています。
- ・宇佐市では、加温機を備えたビニールハウスで促成栽培(11~6月出荷)を行っています。
- ・地面から1mほど上にベンチを設置する高設栽培が主流で、作業がしやすい環境です。
- ・宇佐市は大分県オリジナル品種「ベリーツ」等の品種を栽培しています。
- ・家族経営体や雇成型経営体などの様々な経営体系があります。
- ・部会では、若手を中心としたいちご研究部等の様々な活動があり、他の生産者のハウス見学や技術情報の交換を行っています。
- ・栽培上の課題を一つずつ解決しながら部会員とともに技術の向上を目指す事が出来ます。



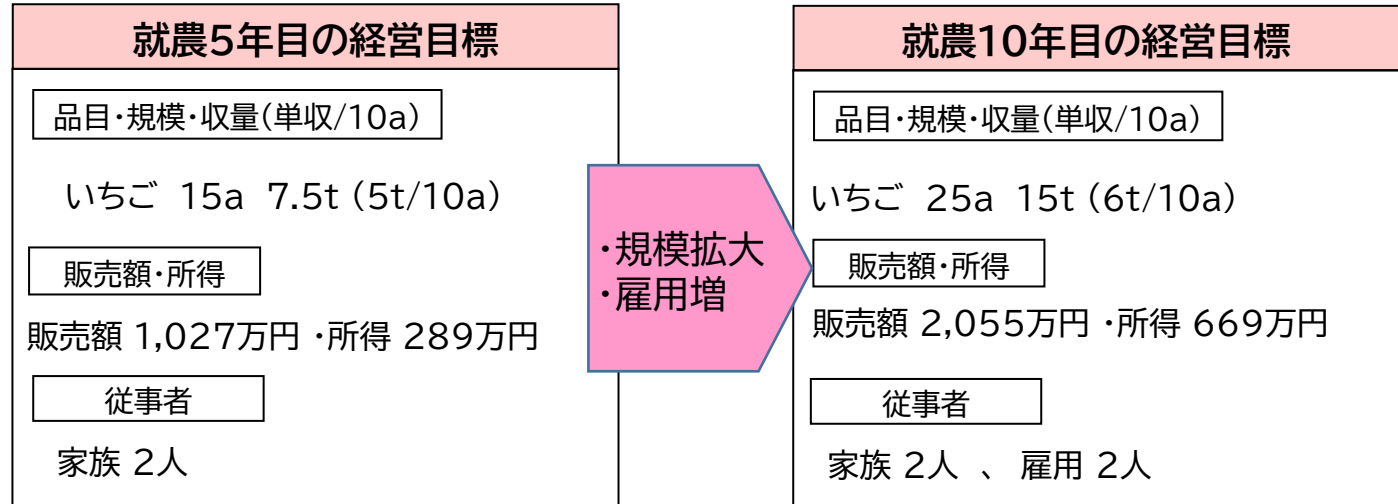
●いちご栽培の流れ



●就農までの流れ



●経営目標



※減価償却費は所得に含む
※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

(株) 豊潤 (代表 大弓 潤)

【経営概要】 <大分県農協北部いちご部会部会長>
面積45a 単収5.5t 販売額 3,200万円
就農17年目 構成員 8名

○経営理念

消費者の信頼に応える安心・安全な農産物生産と、
相互に協力し成長を続け、地域農業の振興へ繋げる。

○メッセージ

私も28歳まで福岡県でサラリーマンをしていましたが、家族との時間を大切にしたいと考え、地元の県で研修し、就農しました。就農当初は大変な事が多かったですが、部会員と協力でき、効率よく生産技術を身につけることができる産地です。



●私たちがサポートします ~技術習得から就農までのサポート体制~

JAおおいた 北部いちご部会

会員数：35戸 面積：10.1ha
販売金額：295百万円(R4) 研修機関：(株)豊潤

【活動】

「大分県農協北部いちご部会」として、3地域（豊後高田、宇佐、中津）合同の広域共販を行っています。部会活動も活発で地域のサポート体制が充実しています。

また、若手生産者による研究会（いちご研究部）活動も盛んで、栽培面や流通対策、安心安全への取り組みなどに意欲的に取り組んでいます。

【主な部会行事】

栽培講習会、目揃え会、視察研修、園回り



<いちご研究部の様子>

●宇佐市の支援策

○農業支援制度

・就農準備資金※60万円×研修期間(最長2年)

○移住子育て世帯支援制度

- ・住宅購入補助※最大150万円
- ・マイカー取得補助※最大100万円
- ・すくすく子育て入学祝い金(小、中、高)

○移住支援制度

・移住お試し滞在施設補助※最大4千円×7泊

●産地が求める人材

- ①いちご栽培に積極的・自発的に取り組める方
 - ②地域や部会との交流ができる方
 - ③コーチや関係機関の助言を聞き入れることができる方
(その他要件)
 - ・就農予定時の年齢が50歳未満であること
 - ・市内に在住して研修を受け、研修終了後、市内で就農、定住すること
 - ・研修期間中に最低限必要な生活費があること
 - ・経営開始時に必要な資金や労働力を有している、または調達できる見込みがあること
- ※他にも要件がありますので、詳細は個別にご相談ください。

●問い合わせ先

JAおおいた
北部営農経済センター(宇佐)
〒879-0471 宇佐市四日市1062-1
TEL:0978-32-2200
FAX:0978-32-3489

宇佐市役所 農政課
〒879-0492 宇佐市大字上田1030番地1
TEL:0978-27-8155
FAX:0978-27-8231

